

# 二月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺  
はつしょうどう

人生は苦（九）とせず・八正道で生きよう

『苦』は梵語（インドの古語）で『思い通りにならない』の意味。八正道とは、正しい『見方・意志・言葉・行い・生活・努力・考え方・想像』の八種類の修行です。一般の宗教では『自分の思い通りにしたい』の願い（我欲）を叶える目的で、神仏に祈ります。合格祈願・商売繁盛など、『自分さえ良ければよい』の考えが人間の本能であり、我欲が叶えられない時は『神も仏もあるものか』と恨んだりします。淨土真宗（門徒）は、欲望を叶えるためには拝みません。自己中心的な考え方（我欲）しか持てない私が、厳しく自分を見つめ直し（内観）、『正しい方向（八正道）に向かってくれよ』との、阿弥陀仏の願いを聞いて行くのが、真宗門徒の在り方です。

なぜ心臓が勝手に動くのかは、誰にも分かりません。私達は、不可思議な力（他力）により『生かされて生きている』のです。私の力（自力）で未来は開けず・他力（阿弥陀仏）の働きにより、自分の力が發揮できるのです。